

平成 25 年 4 月より 中村橋区民センター内に 「高齢者相談センター」開設!



高齢者相談センターって、どんなところ?



高齢者相談センター（地域包括支援センター）は、地域で暮らす高齢のみなさんを、介護・福祉・健康・医療など様々な面から総合的に支えるために、設置されています。これまで、貫井・向山地区を担当する「支所」は練馬区役所内にありましたが、地域の皆様に、より身近で便利にご利用いただくため、中村橋区民センター内での設置が決定しました。

気軽にご相談、ご利用ください!

独居の高齢者の方、要支援・要介護の指定が必要な方、またそのご家族やご親族への支援を、多様な形で実施していくことが、一番の役割です。専門家が配置され、秘密はもちろん守られています。「ちょっと、困ったな」というときの、気軽なご相談、ご利用をお待ちしております!



平成 25 年 4 月 「サンライフ練馬」 リニューアルオープン!

サンライフ練馬とは

1981（昭和 56）年、東京都の他区市町村に先駆けて、中高年の雇用促進と福祉の向上を図る目的で設立された施設です。



どこが変わるの?

全館の耐震工事、トレーニングルーム等各施設の設備拡充を実施。より安心な、使い勝手のよい施設に生まれ変わります。



常任委員会 区民生活委員会 委員

特別委員会 医療・高齢者等特別委員会 委員長

各種委員会 民生委員推薦会

ご相談は… 関口かずお 事務所

〒176-0021 練馬区貫井 3-53-8

Tel / Fax : 3998-1752 HP : <http://www.k-sekiguchi.jp/>



関口 かずお

練馬区議会議員 第五十九代議長

ありがたひ、ご縁の、おかげさま

いきつけ、というほどでもないが、時折、無性に蕎麦が食べたくなったとき、ひとりであらりと訪ねる蕎麦屋がある。

今から三十年ほど前になるうか。まだ駆け出しの議員だった私が、区政や議会、行政の在り方などを語り合える仲間たちと訪れたのが、その蕎麦屋のご縁のはじまりである。

蕎麦のうまさもさることながら、何より、「空気」がいい。自分のペースで、酒を楽しむもよし、蕎麦を食べるもよし。その店の中に身を置くことが、とても心地よく、なにより一番いいのは、店主のお顔である。蕎麦の味の丸さ、空気のおだやかさそのままの、やさしいお顔をされている。

先日、この蕎麦屋を訪れた際、いつもはじめに少しいただく酒が、どのものなのか、店主に初めて訊ねたところ、千葉は大原の酒だという。店主がこれまで様々な飲んだ中でも、一番おいしい、と、お

もう酒なのだそう。

なんというご縁だろう。この酒の出所、千葉の大原は、私の母の出身地である。私は小学生の頃、毎年夏休みには、母の実家に逗留して、地引網を引いたり、取れたてのアジを食べたり、それはもう、のびのびと、楽しい日々を過ごしたものだ。その地で作られた酒を、ずっと大切におもってきた蕎麦屋で、たいそう心地よく、それとは知らずに、いただいていたのである。ご縁という、目には見えない何か、よくもこうしてどこかでつながっているものだと、驚いた。

母は、私が議員になる前に他界したが、その葬儀のとき、家族も知らない人たちが、母に世話になったと、たくさん参列してくれた。後に初当選したとき、母の残してくれたご縁も、きっと私を支えてくれたに違いないと、おもったものだ。

その後、議員として活動す

る中でも、私は数々のご縁に恵まれ、多くの仲間ができて、支えられてきた。仲間たちの姿を見るにつけ、集いや行事そして選挙は、自分ひとりでするものではないことを、その度に実感する。自分と与えられたご縁のありがたさをおもい、また、おかげさまで今の自分があることを、心に刻んでいる。

人は兎角「当たり前」に慣れてしまい、「ありがたいご縁のおかげさま」によって、自分の日々の「当たり前」があることを忘れがちである。ご縁に導かれて、今自分の身近にいる人があって初めて、自分の「当たり前」がある。何事にあたる時にも、それを忘れず、おかげさまの気持ちを持ち続ける。そんな生き方をしたい。

今年初めての、この店の蕎麦と、ご縁の酒の味に触れ、改めて、そつおもっている。

